

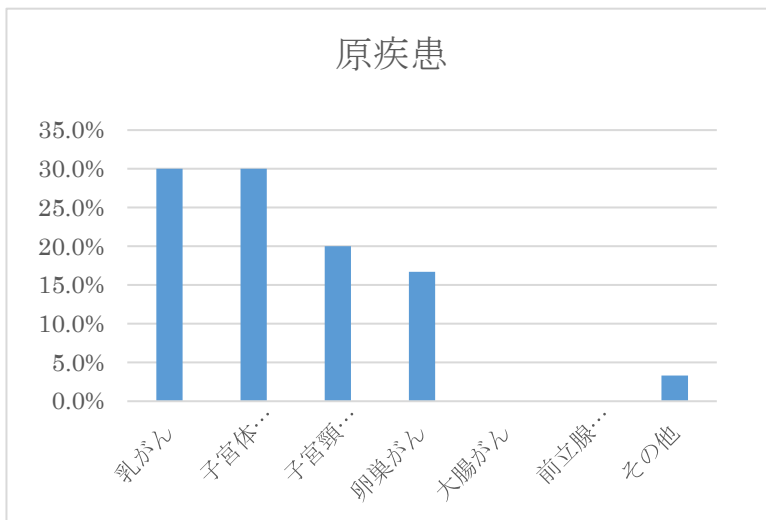
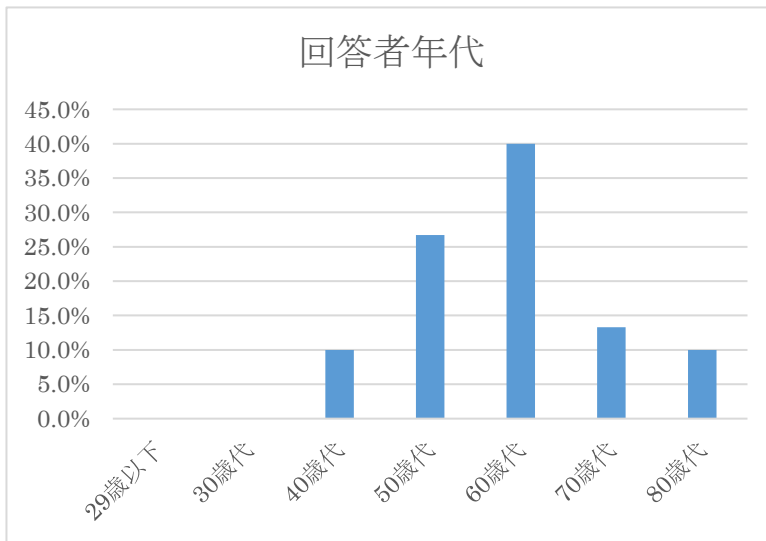
## 「リンパ浮腫診療に関する調査研究」

### 外来患者さんへのアンケート

#### ①回答者の年代、原疾患

リンパ浮腫外来患者さんの回答者の年代は40歳代～80歳代までで、今回の調査では30歳代以下の方はいらっしゃいませんでした。

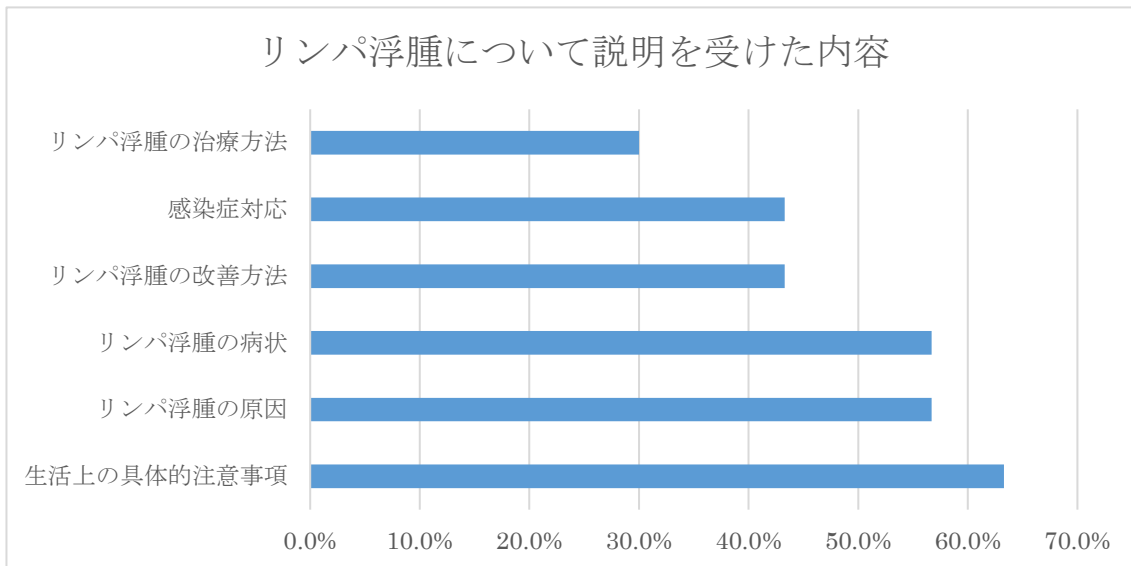
リンパ浮腫発症のきっかけとなっている原疾患については「乳がん」、「子宮体がん」が各々30.0%、次いで「子宮頸がん」20.0%という結果でした。



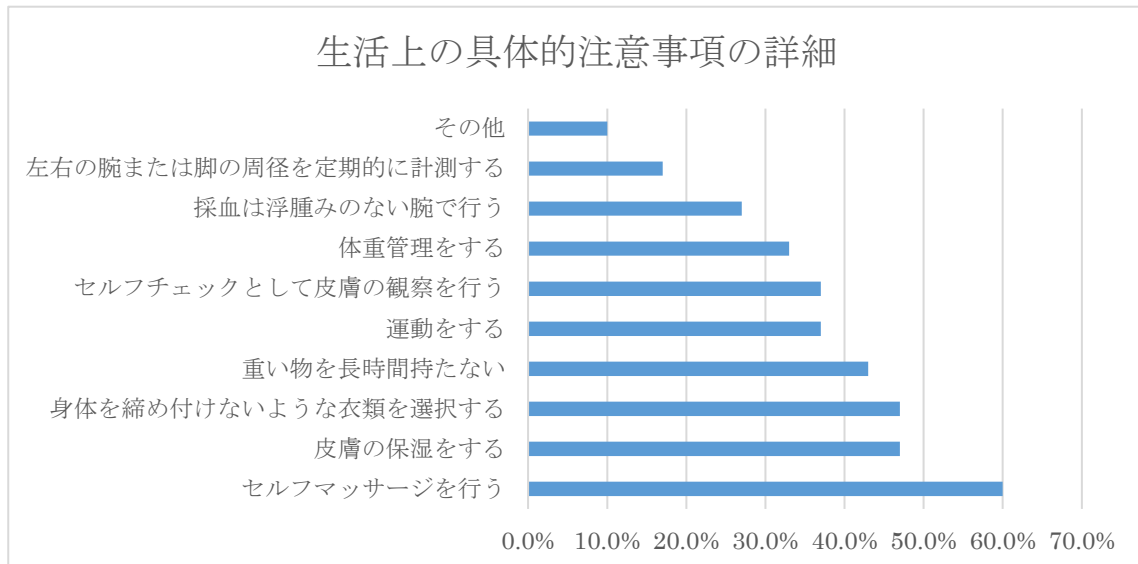
## ②手術と説明

鼠径部・骨盤部もしくは腋窩部のリンパ節郭清を伴う手術を受けたことがある」と回答した方は96.5%でした。

その手術に際し、リンパ浮腫発症のリスクについて「説明を受けた」と回答した方は78.5%で、「説明を受けていない」「説明を受けたか覚えていない」との回答も少数ですがありました。また、リンパ浮腫について説明を受けた方が、どのような内容の説明を受けたかについては「生活上の具体的注意事項」63.3%で最多でした。



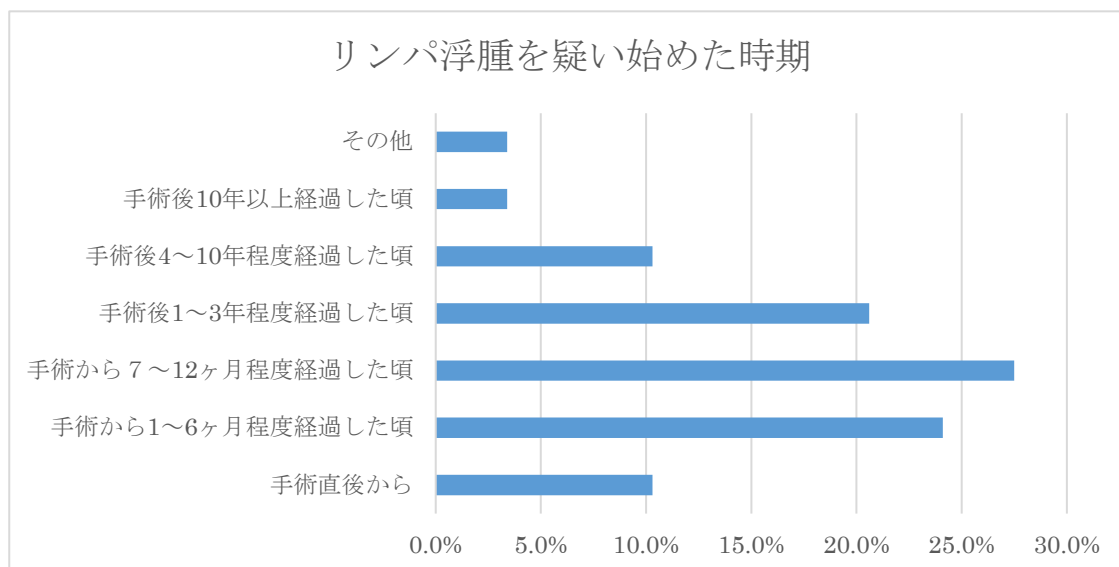
さらに「生活上の具体的注意事項」の詳細について、具体的にどのような説明を受けたか確認すると「セルフマッサージを行う」が60.0%で最多となっていました。



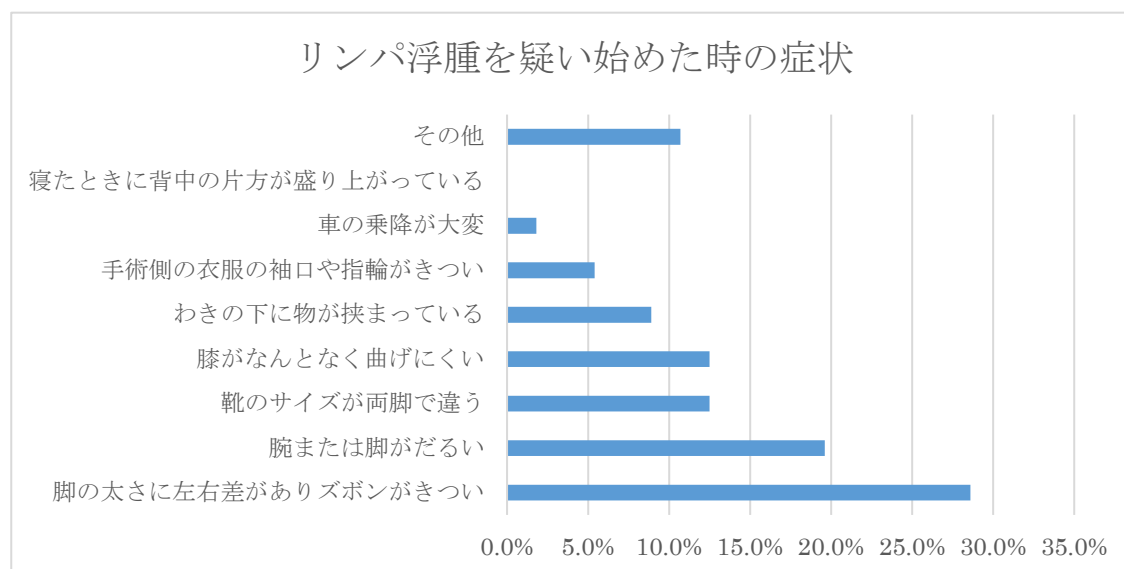
鼠径部・骨盤部もしくは腋窩部のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の手術の前や後に、リンパ浮腫が発症するリスクがある腕または脚の太さを計測したかについては、「計測していない」が73.0%でした。

### ③リンパ浮腫を疑い始めた時期

リンパ浮腫を疑い始めた時期については、手術から1年未満の方が約半数を占めていましたが、10年以上経過してからの方もいました。

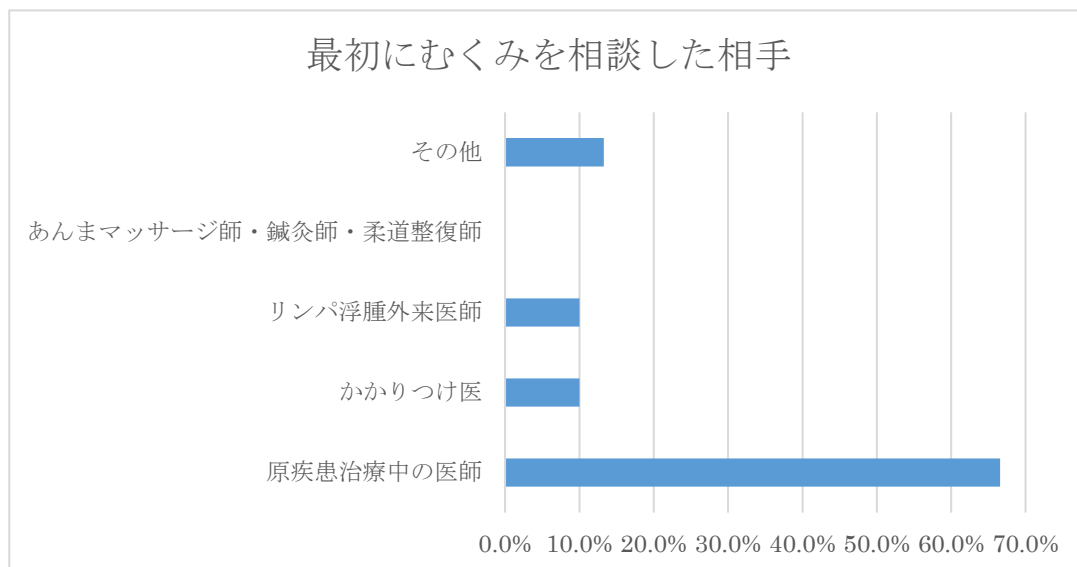


リンパ浮腫を疑い始めたときに、身体の変化をどのように感じたのか気になった症状を確認すると、「脚の太さに左右差がありズボンがきつくなったように感じた」、「腕または脚がだるい」が多く、その他では「脚の付け根の違和感」、「陰部の腫れ」、「突然の蜂窩織炎」という回答がありました。

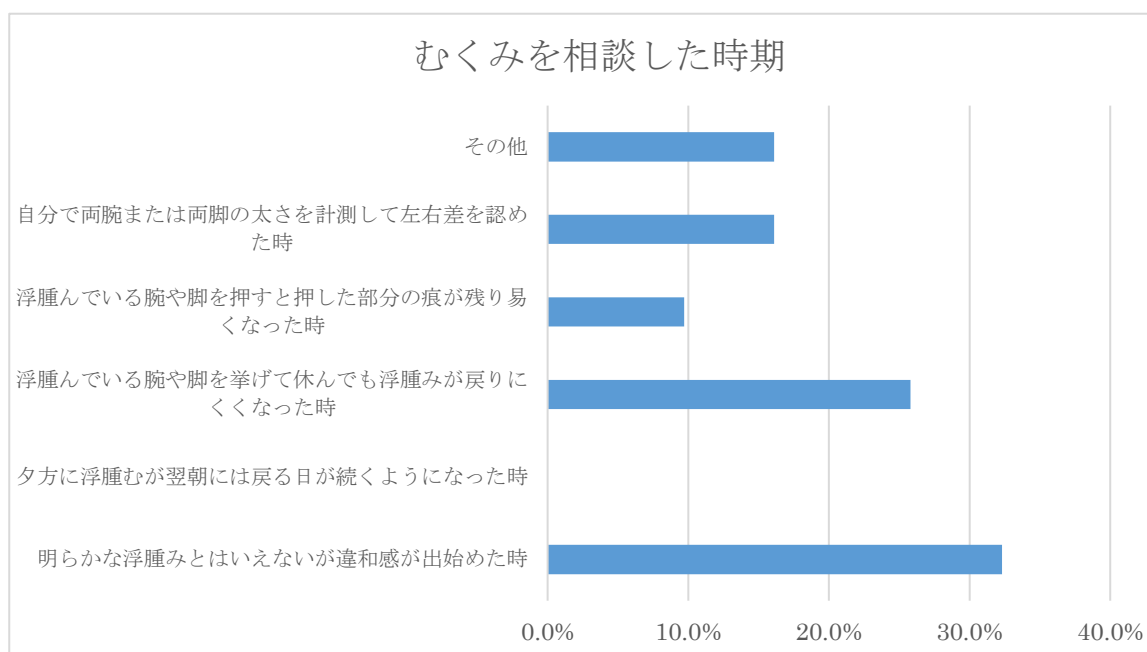


#### ④むくみ始めたときの最初の相談者

むくみ始めたときの最初の相談者については「原疾患治療中の医師」66.0%で、「あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・柔道整復師」と回答した方はいませんでした。その他では「がん相談支援センター看護師」、「リンパ浮腫について説明してくれた看護師」、「家族」となっていました。

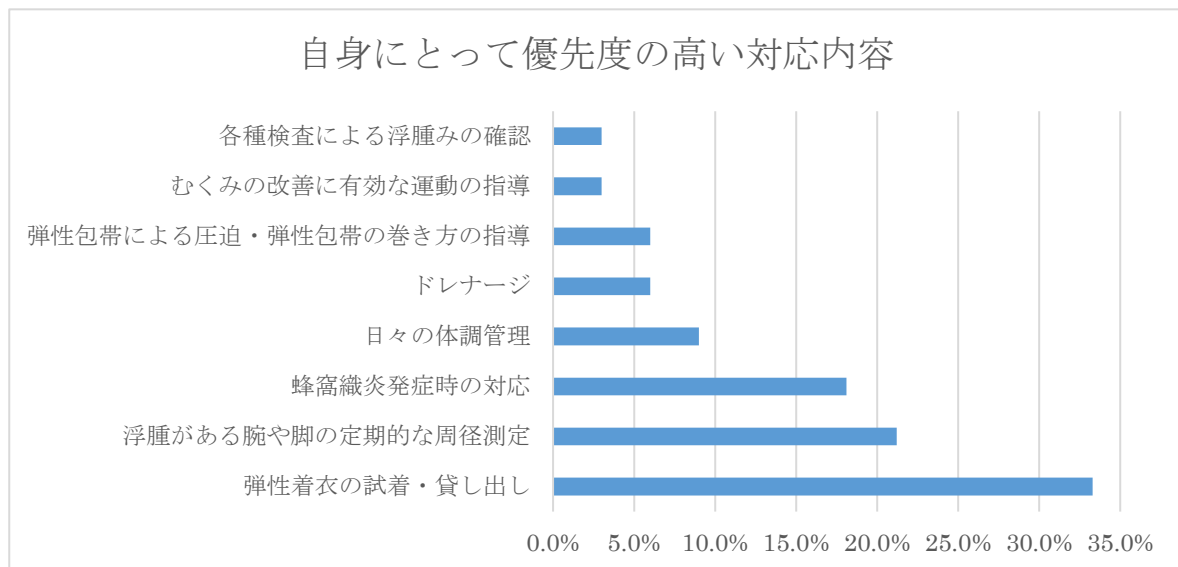


むくみについて相談した時期については「明らかな浮腫みとはいえないが違和感が出始めたとき」32.3%、「夕方になると浮腫むが翌朝には戻る日が続くようになったとき」は0%で、「その他」と回答した16.1%では「皮膚の赤みが出た」、「水疱が出た」、「見た目が違った」などの回答がありました。



### ⑤リンパ浮腫診療のなかで、優先度が高いと考える対応内容

リンパ浮腫外来の診療のなかで、ご自身にとって優先度が高いと考える対応内容についても伺いました。最多は「弾性着衣の試着・貸し出し対応」33.3%でした。



## ⑥自由記載欄に記載された内容

- ・リンパ浮腫が完全に治せるのか
- ・リンパ浮腫を完全に治せる方法を知りたい
- ・リンパ浮腫郭清の手術を行った病院は、早期対応のためリンパ浮腫外来での定期診察を患者に勧めるようにしてほしい
- ・手術した病院ではリンパ浮腫の説明があまりなかった
- ・医療者に相談したときには、リンパ浮腫の治療は保険適応外と言われた
- ・リンパ浮腫外来が増えてほしい
- ・もう少し早く治療していればと思う
- ・医療者からリンパ浮腫は「しょうがない」といわれた
- ・リンパ浮腫の注意点を知りたい
- ・予防対策を知りたい